

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成24年1月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成23年12月分(平成23年11月28日～平成24年1月1日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,646	2.87	7.27	↑	10	百日咳	30	0.08	0.05	↗
2	RSウイルス感染症	719	2.00	1.91	↑	11	ヘルパンギーナ	5	0.01	0.02	
3	咽頭結膜熱	184	0.51	0.60	↗	12	流行性耳下腺炎	168	0.47	0.57	↘
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	678	1.89	1.32	↗	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
5	感染性胃腸炎	2,931	8.16	13.81	↑	14	流行性角結膜炎	102	1.09	0.75	↗
6	水痘	952	2.65	1.97	↗	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.02	
7	手足口病	196	0.55	0.21	↘	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
8	伝染性紅斑	133	0.37	0.12	↗	17	マイコプラズマ肺炎	100	0.95	0.27	↑
9	突発性発しん	145	0.40	0.53	→	18	クラミジア肺炎	2	0.02	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成23年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	44	1.91	2.04	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	123	5.86	5.20	↘
20	性器ヘルペスウイルス感染症	14	0.61	0.63	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	28	1.33	1.64	↗
21	尖圭コンジローマ	9	0.39	0.54		25	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0.00	—	
22	淋菌感染症	20	0.87	0.86	→	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	3	0.14	0.09	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 インフルエンザ(64件→1,646件)
- RSウイルス感染症(284件→719件)
- 感染性胃腸炎(1,136件→2,931件)
- マイコプラズマ肺炎(50件→100件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象8疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	19～22	15～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	49	結核(49)〔西部保健所(6), 西部東保健所(5), 東部保健所(6), 広島市保健所(16), 呉市保健所(9), 福山市保健所(7)〕
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症(1)〔西部保健所〕
四類	4	つつが虫病(2)〔西部東保健所, 広島市保健所〕, レジオネラ症(2)〔西部東保健所, 福山市保健所〕
五類全数	8	アメーバ赤痢(2)〔北部保健所, 広島市保健所〕, ウイルス性肝炎(1) B型〔広島市保健所〕, 急性脳炎(5)〔広島市保健所(2), 福山市保健所(3)〕

3 一般情報

(1) インフルエンザの流行状況について

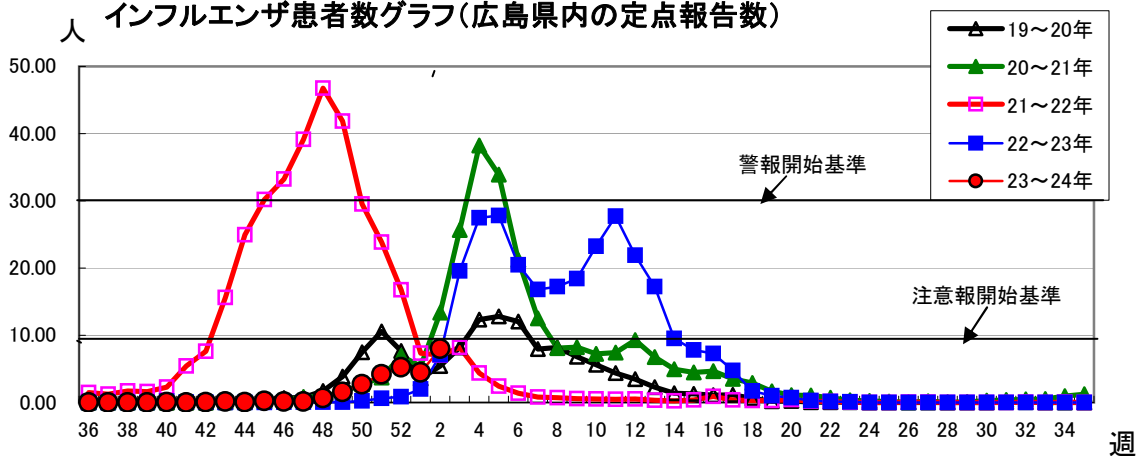
インフルエンザの定点医療機関(115医療機関)からの患者報告数が, 11月の64人から12月は1646人と急増しました。また, 平成24年第3週(平成24年1月16日～平成24年1月22日)には, 西部東保健所管内, 東部保健所管内及び福山市保健所管内で警報の基準(定点当たり30)以上となり, 流行が本格的になったと考えられるため, 平成24年1月25日に「インフルエンザ警報」を発令しました。

インフルエンザは予防できる病気です。インフルエンザの予防, 流行拡大防止には次の点に注意しましょう。

インフルエンザを予防するための注意点

- ・ 外から帰ったときなど, こまめに“流水と石けんで手洗い”を励行しましょう。
 - ・ 睡眠をしっかりと, 偏食せずバランスのとれた食事を心がけ, 体力をつけましょう。
 - ・ 咳エチケット【咳・くしゃみの際にはハンカチなどで口や鼻を覆い, 周りの人から顔をそむける。咳・くしゃみの症状がある場合は, マスクを着用する。】を守りましょう。
 - ・ 室内は, 加湿器などを使って, 適度な湿度(50%～60%)を保ちましょう。
 - ・ 人が集まる場所への外出は避け, 出掛けるときは, 不織布(ふしょくふ)製マスクを着用しましょう。
 - ・ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は, 早めに医療機関を受診しましょう。
- 特に基礎疾患(腎臓疾患, 心臓疾患, 呼吸器疾患等)をお持ちの方や, 妊婦, 高齢者, 乳幼児は合併症を起こしたり, 重症化する恐れがありますので注意しましょう。

人 インフルエンザ患者数グラフ(広島県内の定点報告数)



※なお, 最新の発生状況等については, 次のホームページをご覧ください。

○広島県「インフルエンザの流行状況」 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/1258079048226.html>

(2) マイコプラズマ肺炎について

マイコプラズマ肺炎については, 全国で多い状況が続いていますが, 広島県でも, 定点医療機関(21医療機関)からの患者報告数が11月の50人から12月には100人と大きく増加しました。

マイコプラズマ肺炎は, 「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症で, 感染経路は, かぜやインフルエンザと同じなので, 感染しないために「手洗い」の励行と「咳エチケット」を守りましょう。

○厚生労働省「マイコプラズマ肺炎に関するQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou30/index.html>

(3) 感染性胃腸炎について

平成23年第51週(12月19日～12月25日)の感染性胃腸炎の患者報告数が, 西部東保健所管内(竹原市, 東広島市, 豊田郡)で警報の基準(定点当たり20)以上となったことから, 平成23年12月28日に「感染性胃腸炎警報」を発令しました。

※なお, 最新の発生状況など詳しい情報は, 次のホームページをご覧ください。

○広島県「感染性胃腸炎警報の発令中です」 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/1292573795854.html>